

法人（事業所）理念		子ども達が個性を活かして、自分らしく成長することが出来る			
支援方針		・日常生活や遊びを通して子どもたちの成長と発達を促す。 ・子どもたち一人一人の発達に合わせた支援。 ・心と身体に働きかけるソーシャルスキルトレーニングを実践。			
営業時間		9 時 から 16 時 まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	食事、排泄、睡眠、着脱、身辺管理等生活習慣を身につけられるようここにあった支援を行う。 生活リズムの改善及び、習慣化が出来るよう家庭と連携を図りながら支援していく。 児童一人ひとりの食事の状況に合わせ、量や食材のサイズの調整、介助を行ったり、食器(箸、スプーン、フォーク)の使い方など食事に必要なスキル獲得に向けて支援を行っている。			
	運動・感覚	日々の活動や遊びを通して、子ども達の五感を育む。理学療法士、作業療法士を中心に児童一人一人にあった運動療育を取り入れ、運動面の発達を促す。 活動の中で自然の環境に触れる機会を増やしたり、知育教材を用いたりしながら、手先及び感覚の発達を促す。 滑り台、トランポリン、マット、平均台等、複数の運動遊びを通して、体の動かし方を学び運動の楽しさを感じると共に、運動面の発達を促す。操作性、手指機能等の成長を支援。			
	認知・行動	認知の特性の理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。行動障害予防及び対応を支援。 大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行う。 座る、見る、苦手な事も頑張ってみる等、課題に向かう姿勢や力を育てる。 状況の変化への対応(適応の難しさ等への支援)。			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。 要求、報告、聴く、模倣するなど、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学ぶ。 言葉だけではなく指差しや身振りジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、それぞれに合わせた視覚的な支援を行う。			
	人間関係 社会性	遊びを通じた社会性の発達、自己理解と行動の調整、仲間作りと集団への参加の支援。 環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する自己肯定感を育む。模倣やごっこ遊び、ルールのある遊びを通して社会性の発達を促す。 ”待つ” ”譲る” など気持ちをコントロールする力を育む。児童それぞれのペースに合わせて関わり、気持ちの発散や切り替えの方法を考える。			
家族支援		・子どもを支える家族と、常日頃から児童の成長や様子を共有し一緒に子育てを行う事で安心して子育てが出来るよう支援している。		移行支援	・保護者と相談しながら、児童にあった進路を提案し、その期間と連携を図りながら、支援がとどまることなくスムーズに移行出来るよう支援している。
地域支援・地域連携		・子ども達が生活している環境及び地域で、日々の活動や行事等を通して積極的に関わっている。		職員の質の向上	・月に一度職員全員で支援方針や活動内容等を会議する時間を設けている ・周辺地域や県全体での研修等、職員が受ける機会を設け、それを事業所全体で共有している。
主な行事等		4月『親子遠足』 5月『カラオケ＆駄菓子屋さんごっこ』 7月『七夕』 9月『夏祭り』 10月『ハロウィン』 11月『運動会』 12月『クリスマス』 1月『遠足』 3月『発表会』 ※その年通所する児童に合わせて、1年単位で行事の内容に変更がある			

法人（事業所）理念		子ども達が個性を活かして、自分らしく成長することが出来る					
支援方針		・日常生活や遊びを通して子どもたちの成長と発達を促す。 ・子どもたち一人一人の発達に合わせた支援。 ・心と身体に働きかけるソーシャルスキルトレーニングを実践。					
営業時間		9 時	から	16 時	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	食事、排泄、睡眠、着脱、身辺管理等生活習慣を身につけられるようここにあった支援を行う。 生活リズムの改善及び、習慣化が出来るよう家庭と連携を図りながら支援していく。 児童一人ひとりの食事の状況に合わせ、量や食材のサイズの調整、介助を行ったり、食器(箸、スプーン、フォーク)の使い方など食事に必要なスキル獲得に向けて支援を行っている。					
	運動・感覚	日々の活動や遊びを通して、子ども達の五感を育む。理学療法士、作業療法士を中心に児童一人一人にあった運動療育を取り入れ、運動面の発達を促す。 活動の中で自然の環境に触れる機会を増やしたり、知育教材を用いたりしながら、手先及び感覚の発達を促す。 滑り台、トランポリン、マット、平均台等、複数の運動遊びを通して、体の動かし方を学び運動の楽しさを感じると共に、運動面の発達を促す。操作性、手指機能等の成長を支援。					
	認知・行動	認知の特性の理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。行動障害予防及び対応を支援。 大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行う。 座る、見る、苦手な事も頑張ってみる等、課題に向かう姿勢や力を育てる。 状況の変化への対応(適応の難しさ等への支援)。					
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。 要求、報告、聴く、模倣するなど、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学ぶ。 言葉だけではなく指差しや身振りジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、それぞれに合わせた視覚的な支援を行う。					
	人間関係 社会性	遊びを通じた社会性の発達、自己理解と行動の調整、仲間作りと集団への参加の支援。 環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する自己肯定感を育む。模倣やごっこ遊び、ルールのある遊びを通して社会性の発達を促す。 ”待つ” ”譲る” など気持ちをコントロールする力を育む。児童それぞれのペースに合わせて関わり、気持ちの発散や切り替えの方法を考える。					
家族支援		・子どもを支える家族と、常日頃から児童の成長や様子を共有し一緒に子育てを行う事で安心して子育てが出来るよう支援している。			移行支援	・保護者と相談しながら、児童にあった進路を提案し、その期間と連携を図りながら、支援がとどまることなくスムーズに移行出来るよう支援している。	
地域支援・地域連携		・子ども達が生活している環境及び地域で、日々の活動や行事等を通して積極的に関わっている。			職員の質の向上	・月に一度職員全員で支援方針や活動内容等を会議する時間を設けている ・周辺地域や県全体での研修等、職員が受ける機会を設け、それを事業所全体で共有している。	
主な行事等		4月『親子遠足』 5月『カラオケ＆駄菓子屋さんごっこ』 7月『七夕』 9月『夏祭り』 10月『ハロウィン』 11月『運動会』 12月『クリスマス』 1月『遠足』 3月『発表会』 ※その年通所する児童に合わせて、1年単位で行事の内容に変更がある					